

監督競技者注意事項

美原公園陸上競技場

1. 規則

競技は2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項による。

2. 練習について

- (1) 全ての練習は、競技場周回ジョギングコース又は、第2球場を利用すること。なお、競技場周回ジョギングコースではジョグのみとする。
- (2) 全ての練習は、審判員及び係の指示によって行うものとするが、監督、競技者も危険防止を十分留意する。また、主競技場以外での砲丸投の練習は禁止する。
- (3) 砲丸投の投擲物を利用した練習は、招集完了後フィールド内に移動し、指定された場所において大会主催者が準備したもので練習を可とする。また、競技開始40分前からは、ピットでの投擲練習を可とする。
- (4) スパイクを使用した練習は、100・200m予選・決勝およびハードル競技中のみ、バックストレートを開放する。ただし、バトン以外の練習器具の持ち込みは禁止とする。
- (5) 砲丸投の練習は、招集後のピットのみで行い、それ以外では行わない
- (6) 主競技場での練習は、7時30分～8時まで可とする。

3. 競技場について

主競技場は全天候舗装であるので、競技規則第143条④を適用する。したがって走路の保全と競技者の安全のため靴底から外部に出ているスパイクの長さは9mmを超えてはならない。ただし、走高跳の場合は靴底もしくはかかとから外部に出ているスパイクの長さは12mmを越えてはならない。

靴底の高さは走高跳・走幅跳は13mm以内、走高跳の踵の高さは19mm以内とする。その他の種目の厚さ高さは自由である。

4. 招集について

- (1) 競技者は、招集完了時刻5分前に競技者控え所(第1ゲート外・フィニッシュ付近)に集合し、競技者係の点呼とユニフォーム・ナンバーカード及びスパイクのピンの長さの確認を受け、待機する。
- (2) 走幅跳・棒高跳競技者は、招集完了時刻5分前に現地で競技者係の点呼とユニフォーム・ナンバーカード及びスパイクのピンの長さの確認を受ける。
- (3) 招集は、本人が招集所において招集を受ける。ただし、同一時間に他の種目と兼ねて出場するものは、競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を受ける。この場合は、代理人を認める。
- (4) 招集に遅れた場合は、棄権とみなし出場を許さない。(尚、事前に棄権することが明らかなきは招集完了時刻までに招集所へ申し出る。その際、代理人も認める。)
- (5) 招集時刻は下記のとおりである。時間は競技開始時刻を基準とする。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前
フィールド競技	高・幅	40分前
	棒高跳	60分前
	砲丸投	70分前

5. 入・退場について

トラック競技者は招集完了と同時に競技場へ誘導されるので、係員の指示に従い、第1ゲートから競技場の外周を通過して、各ゲートより入場する。競技終了後も指示に従い規律ある行動をとること。

6. 競技方法について

- (1) スタート合図はイングリッシュコマンド(On your marks:オン・ユア・マークス, Set:セット)で行う。不正スタートについて、1回目の不正スタートで失格とする。
- (2) トラック競技予選の走路順、フィールド競技試技順序はプログラム記載の上から下の順序にする。

- (3) 決勝の走路順は本部で抽選し、招集所に掲示する。
- (4) リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、招集完了1時間前に招集所競技者係に提出する。(リレーオーダー用紙は、招集所に用意する)
- (5) 3,000mについては、グループスタートを実施する。
- (6) 走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。ただし、諸条件(悪天候)などにより、審判長の判断で高さを変更することもある。

	練習	競	技
男子走高跳	1.50 : 1.65	1.55~1.60~1.65~1.70~1.73~1.76~1.79~1.82~1.85~	
女子走高跳	1.30 : 1.45	1.35~1.40~1.45~1.48~1.51~1.54~1.57~	
棒高跳	2.10 : 3.00	2.20~2.30~2.40~2.50~2.60~2.70~	

- ①最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。ただし、残っている競技者が2人以上でも、全員の同意があれば第181条4(a)(b)を適応しないで、県記録を超える高さにバーを上げることができる。
- ②第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

7. 表彰について

各種目1位から8位まで賞状(リレーは3位まで個人4枚を含む)を授与する。男女別総合優勝校には優勝旗を男女別学校総合並びに地区総合1位から3位まで賞状を授与する。

8. 用器具について

用器具は、競技場のものを使用する。ただし、棒高跳のポールは招集後に現地で検査を行う。合格したものに限り個人所有のものを使用することを認めるが、競技進行中跳躍審判員が随時点検する。

9. その他

- (1) やむを得ず棄権するときは、競技者係に申し出る。
- (2) ランニングシャツは、確実にランニングパンツの中に入れて競技をすること。
- (3) 医務室は、スタンド下に置く。
- (4) 更衣については、プール内更衣室を使用してもよい。
- (5) 盗難防止については、各自注意すること。不審な行動を見かけたら、近くの競技役員まで知らせる。
- (6) 競技場内は、競技者、役員、補助員以外は立ち入らないこと。
- (7) メインスタンドには、スパイクで入らないこと。
- (8) 応援は、競技運営に支障を来したり、観客の邪魔にならないようスタンドで行うこと。なお、メインスタンドでの集団応援は禁止とする。
- (9) ごみは、必ず持ち帰ること。
- (10) 商社名等のついたものは競技場内に持ち込まないこと。(20cm²以内、バックは25cm²以内は可)
- (11) ピットについて

走高跳	正面スタンドから見て右側	Aピット
	〃	左側 Bピット
走幅跳	メインスタンド寄り	Aピット
	トラック寄り	Bピット
砲丸投	正面スタンドから見て右側	Aピット
	〃	左側 Bピット
- (12) 各校のベンチは、芝生スタンド、競技場外学校ベンチエリア(別紙)とする。尚、メインスタンドの座席上はテントやシート等での場所取りは禁止する。
- (13) 雨天時のみ、県北体育館外通路のコンコースを開放する。
- (14) 横断幕・のぼりの設置は指定された場所のみとし、スタンド前面の設置は禁止とする。
- (15) 各校のリレーで使用スタート用のマークは、白色のテープを使用すること。
- (16) トイレは、メインスタンド下の更衣室側トイレ、プール内トイレおよびテニスコート付近を使用すること。(車イス専用トイレ、南駐車場トイレは、使用しないこと)

10. 通信大会並びに全国・関東大会出場について

平成31年度 全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録及び栃木県大会標準記録

全国大会参加標準記録				栃木県大会参加標準記録			
男子 (14種目)		女子 (11種目)		男子 (17種目)		女子 (14種目)	
種目	記録	種目	記録	種目	記録	種目	記録
100m	11" 20	100m	12" 53	1年100m	12" 7	1年100m	13" 8
				2年100m	12" 0	2年100m	13" 4
200m	22" 75	200m	25" 80	3年100m	11" 8	3年100m	13" 2
				200m	24" 2	200m	28" 0
400m	51" 60			400m	55" 5		
800m	2' 00" 50	800m	2' 16" 50	800m	2' 11" 0	800m	2' 27" 0
1500m	4' 08" 50	1500m	4' 38" 00	1年1500m	4' 50" 0	1年800m	2' 33" 0
3000m	8' 57" 00			1500m	4' 33" 0	1500m	5' 05" 0
110mH	15" 00	100mH	14" 80	3000m	9' 50" 0		
				110mH	17" 5	100mH	16" 8
走高跳	1 m 8 5	走高跳	1 m 6 0	走高跳	1 m 6 5	走高跳	1 m 4 0
棒高跳	4 m 0 0			棒高跳	2 m 6 0		
				1年走高跳	5 m 0 0	1年走高跳	4 m 3 0
走幅跳	6 m 5 5	走幅跳	5 m 4 5	走幅跳	5 m 7 0	走幅跳	4 m 6 0
砲丸投	(5kg) 13m00	砲丸投	1 2 m 5 0	砲丸投	(5kg) 9m50	砲丸投	9 m 5 0
四種	2 5 0 0 点	四種	2 6 3 0 点	四種	1 7 0 0 点	四種	1 7 0 0 点
4x100R	県1チーム	4x100R	県1チーム	4x100R	47" 5	4x100R	53" 0

- ※1 全国大会に参加するには、全日本通信大会および栃木県総合体育大会で上記の標準記録を突破しなければならない。
尚、四種競技については、6/1(土)のジュニアトライアルも含まれる。
- ※2 全日本通信陸上競技大会に参加資格は、栃木県春季体育大会の各地区予選においての上位3名と上記標準記録を平成30年7月1日より令和元年6月の各地区〆切期日までに突破した者に与えることとする。
- ※3 通信大会1位の者は、関東大会の出場権を得る。また、上記全国大会参加標準記録に到達した者は、関東大会参加の候補選手となる。
尚、学年別の種目については、下記の記録を突破した場合は、関東大会候補選手となる。

男子	1年100m	12" 20	2年100m	11" 60
	1年1500m	4' 30" 00	1年走幅跳	5 m 4 0
女子	1年100m	13" 14	2年100m	12" 84
	1年800m	2' 22" 00	1年走幅跳	4 m 7 0
- ※4 関東大会参加の候補選手になるための公認大会(記録会)は下記のとおりである。

* 関東大会参加候補選手選考指定大会(記録会) 4月~7月10日までの県内の公認大会
 ・ 栃木県陸上競技協会記録会 ・ 栃木県春季大会 ・ 栃木県中学春季大会
 ・ 栃木県選手権 ・ ジュニアトライアル ・ 通信陸上

GR…大会記録	* R1…オーバーゾーン1→2
=GR…大会タイ記録	* R2…オーバーゾーン2→3
◎…標準記録突破	* R3…オーバーゾーン3→4
NM…記録なし	* T…着差あり
DNS…欠場	* D…同着
DNF…途中棄権	Q…順位による通過者
DQ…失格	q…成績による通過者